

太田川見どころマップ

1.まほろば護岸【天満川】



周辺の医療・福祉施設と一体となった護岸が整備され、世代・障害の有無を超えて、すべての人々が安全に川辺に親しめる思いのこもった空間となっている。

2.鷺島【旧太田川】



太田川最下流(市街地)に位置する鷺のぬぐら。昼は川風、夜は燈が住み着いている。

3.楠木の太雁木【旧太田川】



テルタに今も残る雁木の中で最大のもの。往時の盛んなった舟運を物語る。

4.寺町地区【旧太田川】



原爆で焼けながらも、お寺の配置は江戸時代と変わらない。200年程の戦にも突城がある。

5.堀川取水口【旧太田川】



広島城内堀の水質改善を目的として、旧太田川からの河川水を取水している。

6.ボプラの木【旧太田川】



戦後復興の象徴として、今も残るボプラの木。H16台風18号の強風により倒壊したが、若芽を確実に見ることができている。

7.基町環境護岸【旧太田川】



治水機能と環境機能との整合を図り、やすらぎを与える護岸として整備されている。H15年度土木学会デザイン賞の特別賞を受賞。

8.慈仙寺の鼻【旧太田川】



相生橋から旧太田川と元安川の分岐地点を見ると慈仙寺の鼻が船首の様に見える。

9.舟繋石【旧太田川】



雁木近くに残る杭。昔は舟をつなぐために利用されていた。

凡例
 ● : 主要な施設
 ● : 主要な見所

相生橋【旧太田川】



分岐点に架かる珍しいT字橋。この形が原爆投下の目印にされたと言われている。

元安橋【元安川】



毛利元就の子元康が架けたので、昔は元康橋と云った。欄干に「元」の字のデザインあり。

平和大橋【元安川】



高欄は人間の腕、手すりは拳の連なり、橋端の半円球は太陽を象徴する。西平和大橋と共にイヌマシノグチのデザインである。

工兵橋【京橋川】



工兵第5連隊が牛田の演習場への連絡のため架設したことからこの名前となった。

京橋【京橋川】



広島城から京都に向かう道筋にあるため、この名前となった。中区で一番古い橋。H23年度選奨土木遺産。

御幸橋【京橋川】



山陰道行幸中の明治天皇が広島を訪れ、この名前となった。中区で一番古い橋。H23年度選奨土木遺産。

宇品橋【京橋川】

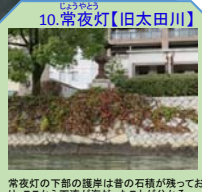


ゲート性やランドマーク性を合わせ持つデザイン的なアーチが特徴である。

猿猴橋【猿猴川】



四隅の観柱の上に地球儀に乗り羽はく大きな鳥の姿。欄干には猿猴二匹が向かい合っている橋を掲げている彫りがある。



10.常夜灯【旧太田川】

常夜灯の下部の欄干は昔の石積が残っており、ここから海が遡ってきたことが分かる。



11.アステールプラザ【旧太田川】

アステールプラザと一体的に整備された緑地があり、船着場もある。



12.原爆ドーム【元安川】

被爆前は産業奨励館として、曲線の美しいデザインと彫彫のドーム、また川に緑を向ける景観で広島シンボルになっていた建物である。



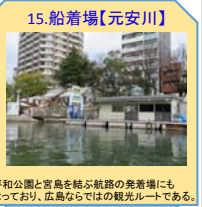
13.元安川親水テラス【元安川】

原爆ドームの対岸に位置し、水の都ひろしま実現に向けてのシンボルとしての水辺となっており、市民や観光客の憩いの場となっている。



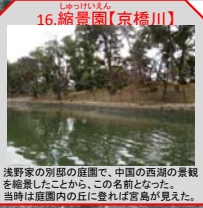
14.水辺のカフェ【元安川】

平和記念公園の来訪者に憩いと交流の場を提供している。



15.船着場【元安川】

平和公園と官倉を結ぶ航路の船着場にもなっており、広島ならではの観光ルートである。



16.縮景園【京橋川】

浅野家の別邸の庭園で、中国の西湖の景観を縮景したことから、この名前となった。当時は庭園内の丘に登れば広島が見えた。



17.だいのくの鼻【京橋川】

京橋川と猿猴川の分岐地点は「だいのくの鼻」もしくは「出鼻」と呼ばれています。



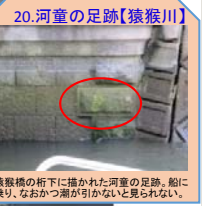
18.京橋川の雁木群【京橋川】

潮の干満にあわせてより下りできるように川岸に設けられた階段。H19年度選奨土木遺産。



19.水辺のカフェ【京橋川】

H17年から開業したこのカフェは河川空間で常設店舗を設置した全国初の取組であり、今では、お店種運営している。



20.河童の足跡【猿猴川】

猿猴橋の桁下に描かれた河童の足跡。船に乗り、なおかつ潮が引かないと見えない。